



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

歯舞小学校3・4年生 地引き網体験

7月11日、歯舞小学校3・4年生36人を対象に友知海岸で地引き網体験を行いました。

地元漁業者に協力して頂き前浜コンブ出漁前の合間を縫って行っている取り組みで、今年で9回目となります。

この日はあいにくの曇り空でしたが、児童たちは地元漁業者、漁協職員らの指導の下、地引き網に挑戦。沖合に入れられた引き網を、大きな掛け声と共に引き揚げました。網の中にはたくさんのカレイが入っており、児童たちは歓声を上げながら袋いっぱいに入れた魚を持ち帰りました。

これからも子供たちが地元の産業や自然に触れ合う機会をつくり、地元への理解・関心を深める活動を続けていきたいと思っております。



懸命に網を引く児童たち



開会式の様子



網の中の魚に歓声が上がりました

トーサムポ口の潮干狩り 家族連れでにぎわう

豊里地区トーサムポ口漁港東側を開放した「歯舞の潮干狩り」が7月25日から始まり、市内の家族連れを中心に約100人が参加しました。

初日となったこの日は午前10時からセレモニーが行われ、歯舞地区マリンビジョン協議会の小倉啓一会長が「子どもたちは大人に負けないよう、たくさん掘ってください」と挨拶しました。

参加者らはクマデとバケツを手に各所に分散してアサリ掘りに奮闘！大ぶりのアサリが顔を出す

度に歓声が上がります。笑顔でアサリ掘りを楽しむ姿が多くみられました。



アサリ掘りを楽しむ親子連れ



バケツいっぱいのアサリに大人も子供も大喜び

アサリ掘り体験学習

● 歯舞小中学校と花咲小学校の小学1・2年生49人を対象とした「アサリ掘り体験学習」が7月12日、トーサムポ口漁港で行われました。この体験学習は、アサリ掘り体験を通して自然に触れることで、自然の美しさや大切さ、成長や変化の様子を感じ取ってもらうことを目的に毎年継続実施しているものです。

● 開会式が終わると、子どもたちは用意されたクマデとバケツを持ってさっそくアサリ掘りを開始。砂からアサリが顔を出す度に大きな歓声が上がリ、バケツいっぱいのアサリを手に嬉しそうな笑顔を見せていました。自分で掘ったアサリはお家でお味噌汁にして美味しくいただいたそうです！



全体写真



アサリ掘りを楽しむ児童たち

北方領土青少年等現地視察 鳥取県・鹿児島県の青少年ら

● 平成29年度北方領土青少年等現地視察支援事業の一環で、7月28日に鳥取県の小中高生15名、8月3日に鹿児島県の中高生15名が歯舞漁協を訪れました。

● 同事業は青少年らを北方領土隣接地域に派遣し、北方領土の視察等を通して北方領土問題を正しく理解し、返還運動のすそ野を広げることを目的に実施されています。

● 生徒たちは、歯舞漁協食堂で朝食を食べたあと、市場でその日に水揚げされた魚についての説明を受けたり、セリの見学等を行い、市場関係者の説明に写真やメモを取りながら熱心に耳を傾けていました。



朝食の様子



水揚げされた魚の説明を受ける生徒たち



セリの見学



昆布倉庫の見学

編集・発行・お問い合わせ

■ 編集・発行

歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

■ お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産振興課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

